

令和6年度地域内景況感調査アンケート結果報告④

【調査結果について(N=10)】

1月に行った地域内景況感調査アンケート結果について報告いたします。

今回の調査は、引き続き物価高騰や気候変動による水産業の水揚げ不振などの影響を受ける会員事業所の景況をメール調査。売上および販売（受注量）共に80%が減少と回答、増加と回答した事業所はなかった。また、販売単価は60%が不変と回答、一方で仕入単価は80%が増加と回答している。このような状況から、経常利益および資金繰りについては70%が悪化と回答、好転と回答した事業所はなく、地域企業の非常に厳しい経営状況が見て取れる結果となった。

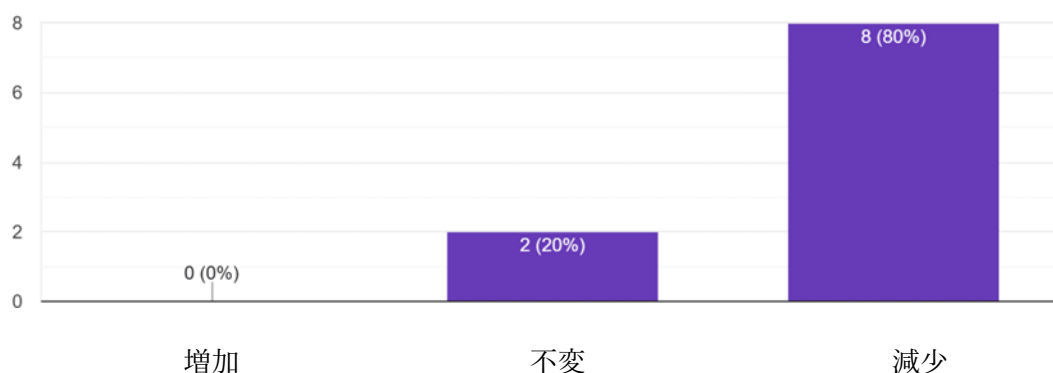
労働力については40%が不足と回答。今後の人材確保に対する課題についても継続した対策が必要であると思われる。

また、事業所で必要と考える取り組みについては生産性向上が70%次いで販路開拓および新サービスの向上が共に50%となっている。課題解決への取り組みについては60%が検討中または取り組んでいないとの回答であり、生産性向上や販路開拓等で利益確保を図りたい一方で資金繰り面の不安等から課題解決に二の足を踏んでいるものと推測される。

1. 景況感について

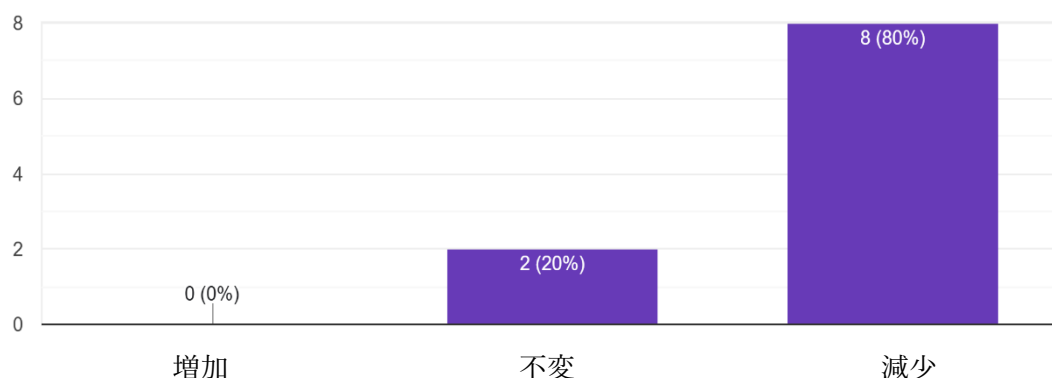
(1) 売上高

10件の回答



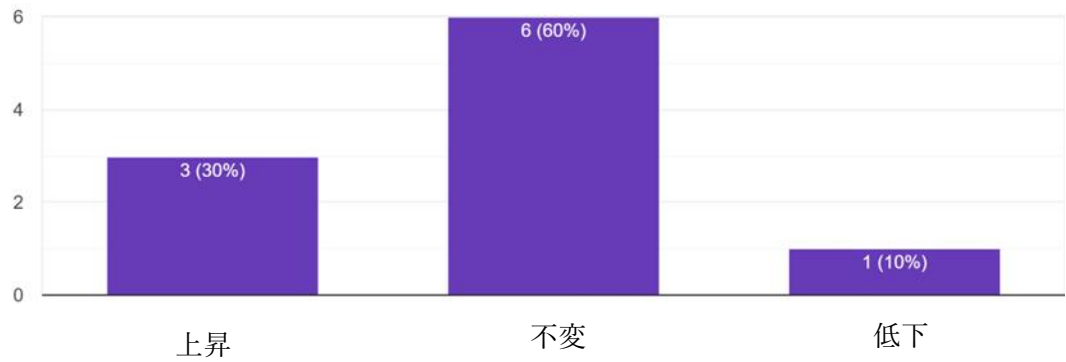
(2) 販売（受注）数量

10件の回答



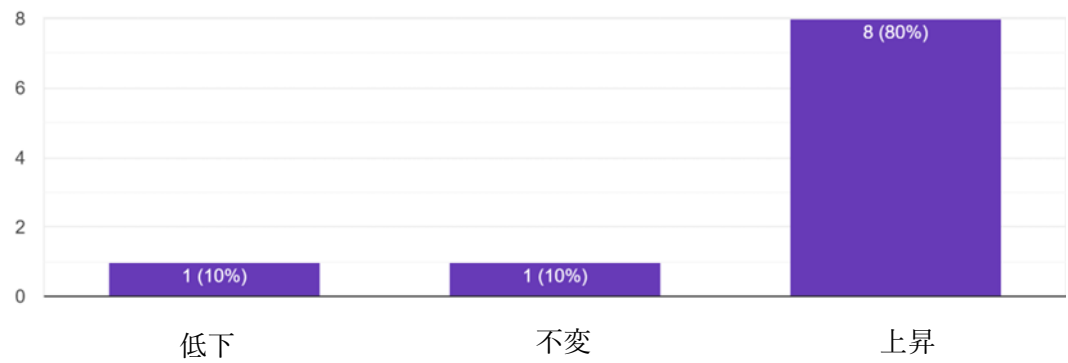
(3) 販売（受注）単価

10件の回答



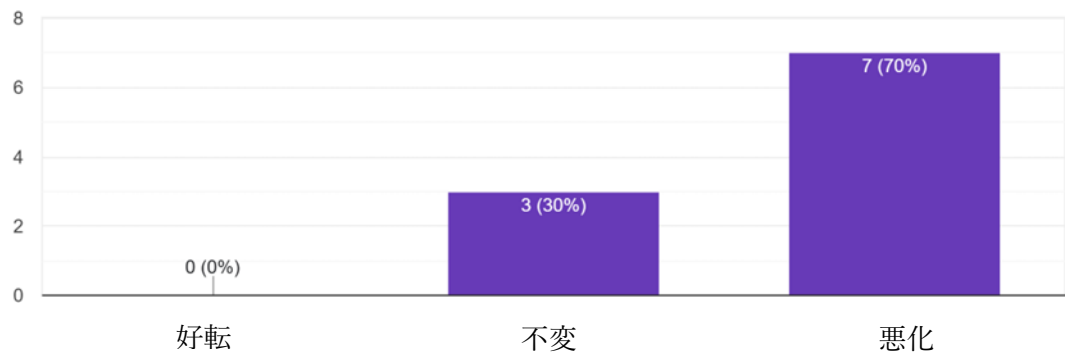
(4) 原材料・商品仕入単価

10件の回答



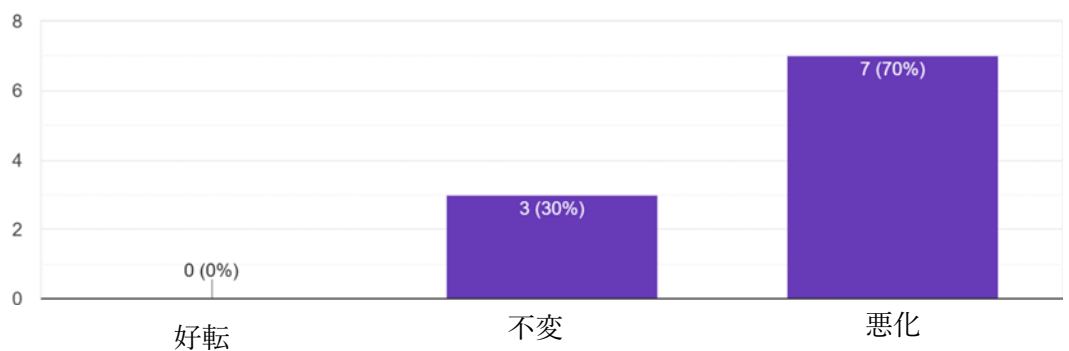
(5) 採算（経常利益）

10件の回答

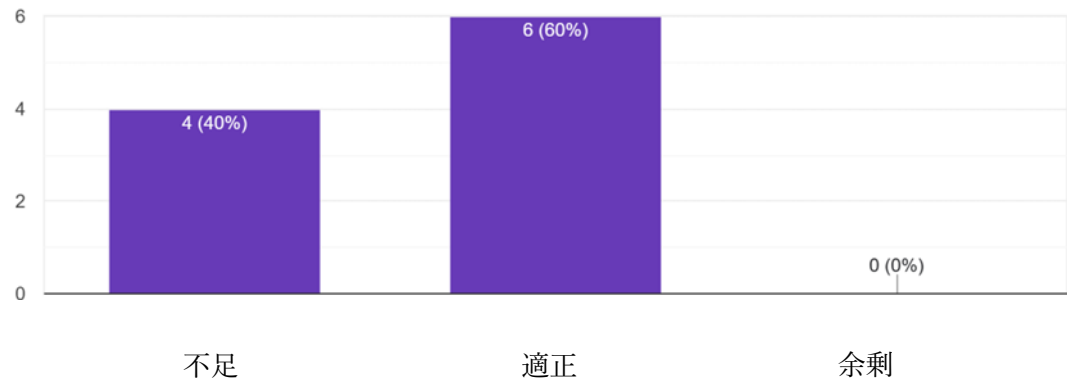


(6) 資金繰り

10件の回答

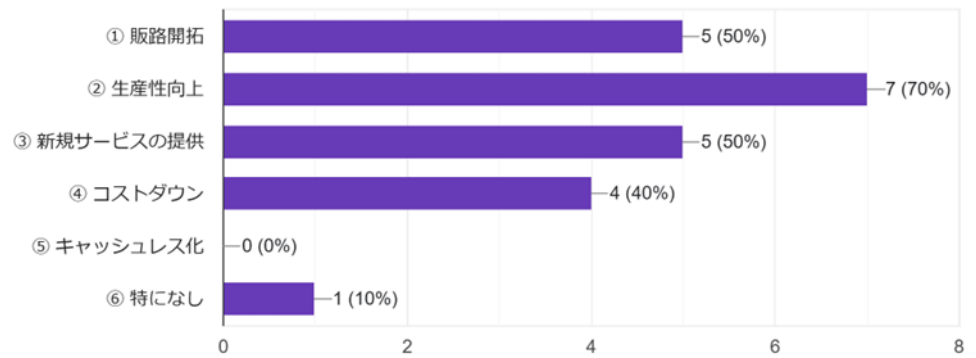


労働力確保状況 1.不足 2.適正 3.余剰
10件の回答



2. 御社の取り組みについて

2. 御社の必要と考える取り組みについてご回答ください。（複数回答可）
10件の回答



3. 2でご回答頂いた内容についての取り組み状況をご回答ください。
10件の回答

